

産業革命以降の急速な近代化がもたらした現代の地球環境問題に 대응する手段として、先端技術や巨大技術の開発、すなわち技術指向型の解決に対して、「オルターナティブな技術」つまり自然との融和を図る代替技術の適用がある。それは現代の「高水準」な生活の質を維持しつつ、人間性の尊重を自然と調和することに主眼を置いた等身大の技術によって可能にしようとするものだ。その一つの成果であるエコロジカル・デザインの実験場「Centre for Alternative Technology (CAT)」は、やはり産業革命を最も早く体験したイギリスに根をおろした。

ウェールズ地方北部のマキンレス<sup>\*2</sup>郊外に、食料からエネルギーまでの自給自足を原則に、代替技術の実験場としてCATが開設されたのは1973年のことである。慈善団体から鉄平石採石場跡地を譲り受け、約130社に上る企業の協力を得て建設された。太陽熱、風力、小水力等の代替エネルギーを利用できる立地性と安価な地代がこの場所を選んだ理由であった。その後、エン



写真59-1 CAT 入口

\*<sub>1</sub>  
Centre for  
Alternative  
Technology (CAT)

\*<sub>2</sub>  
Mackinleth

ジニア、建築家、生物学者をはじめとする様々な領域の専門家達が集団生活を行いながら、代替技術の効果を実証することによって、社会へ向けた啓蒙・情報発信活動を30年にわたって継続してきた。

すなわち、同センターは代替技術に関する研究と立体的な情報発信を行い、そして同時に運営資金を調達するという、新しい形のワールド型ミュージアムである。そのプログラムの柱として①「展示」と「教育」、②自然エネルギーと有機農業に関する各種の実験、③親子連れを対象としたエコロジーのテーマパークとしての環境整備の3つが掲げられ、

各々の具体的な開発に重点が置かれている。ところで、ここで展示されているシステムや施設・設備はその殆どが既存の技術によるもので、すぐにでも活用できることが大きな特徴である。企業のPRを兼ねた寄付によるもの、廃品利用の手作りのもの、大学等への委託研究によるものなどが、来場者に対して段階的に用意されたきめの細かい説明と共に屋内外にわかりやすく展示され、同時にその大部分が実際に稼働している。



写真59-2 太陽光発電装置の比較展示



写真59-3 エコハウスの実証展示